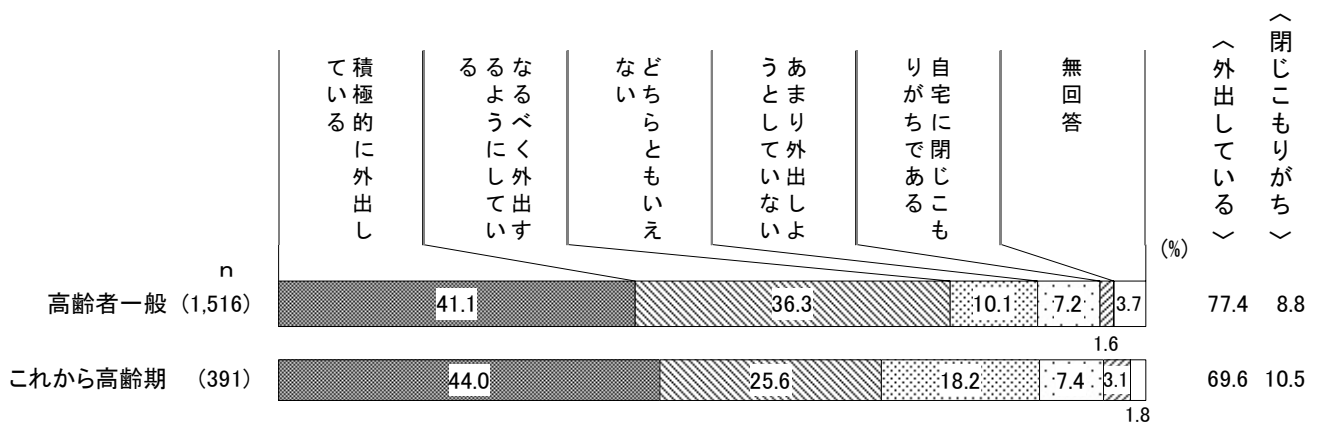


3. 社会参加

(1) 外出状況

①外出に対する積極性

- いずれの調査でも「積極的に外出している」が最も高く、高齢者一般で41.1%、これから高齢期で44.0%となっている。
- “外出している”（「積極的に外出している」と「なるべく外出するようにしている」の合計）は、高齢者一般で77.4%、これから高齢期で69.6%となっている
- “閉じこもりがち”（「あまり外出しようとしていない」と「自宅に閉じこもりがちである」の合計）は、高齢者一般で8.8%、これから高齢期で10.5%となっている。



[経年比較 / 高齢者一般]

- 令和元年度の調査結果と比較すると、令和4年度の調査結果は、“外出している”が4.8ポイント低くなっている。

	n	積極的に外出している	なるべく外出するようにしている	どちらともいえない	あまり外出しない	自宅に閉じこもりがちである	無回答	外出している	閉じこもりがち
令和4年度	1,516	41.1	36.3	10.1	7.2	1.6	3.7	77.4	8.8
令和元年度	1,447	45.7	36.5	8.6	5.4	1.5	2.2	82.2	6.9

[情報通信機器の使用状況別 / 高齢者一般]

○情報通信機器の使用状況別にみると、『何かしらの情報通信機器を使用する』は、“外出している”が8割超で、『使用しない』と比べて高くなっている。

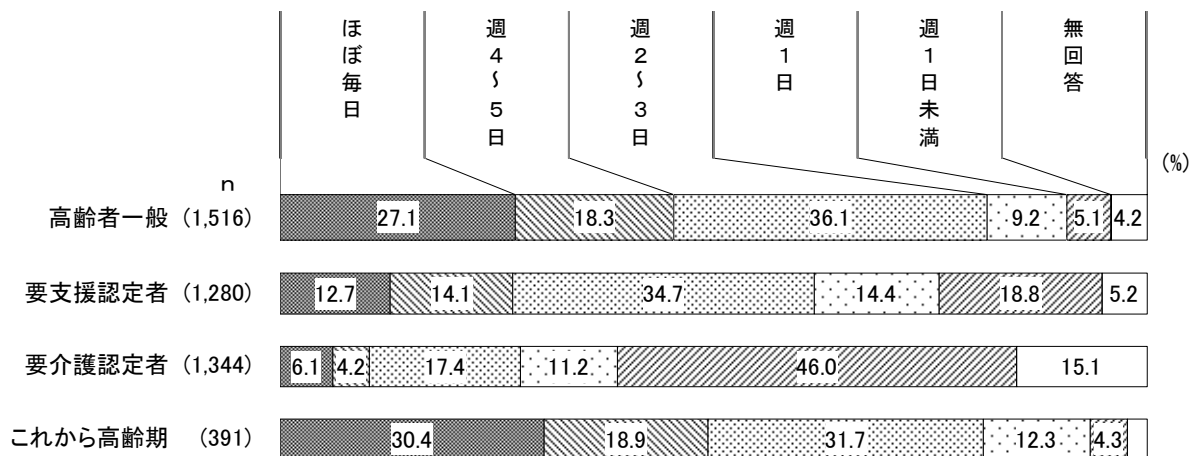
	n	(%)						外出している	閉じこもりがち
		積極的に外出している	なるべく外出する	どちらともいえない	あまり外出しない	がちである	自宅に閉じこもりがちである		
高齢者一般	1,516	41.1	36.3	10.1	7.2	1.6	3.7	77.4	8.8
何かしらの情報通信機器を使用する	1,028	46.1	36.3	9.4	5.4	1.0	1.8	82.4	6.3
使用しない	488	30.5	36.5	11.5	11.1	2.9	7.6	67.0	13.9

②目的別外出頻度

ア. 買物で外出する頻度

○週1日以上外出している人は、高齢者一般で約9割、要支援認定者で7割半ば、要介護認定者で約4割、これから高齢期で9割超となっている。

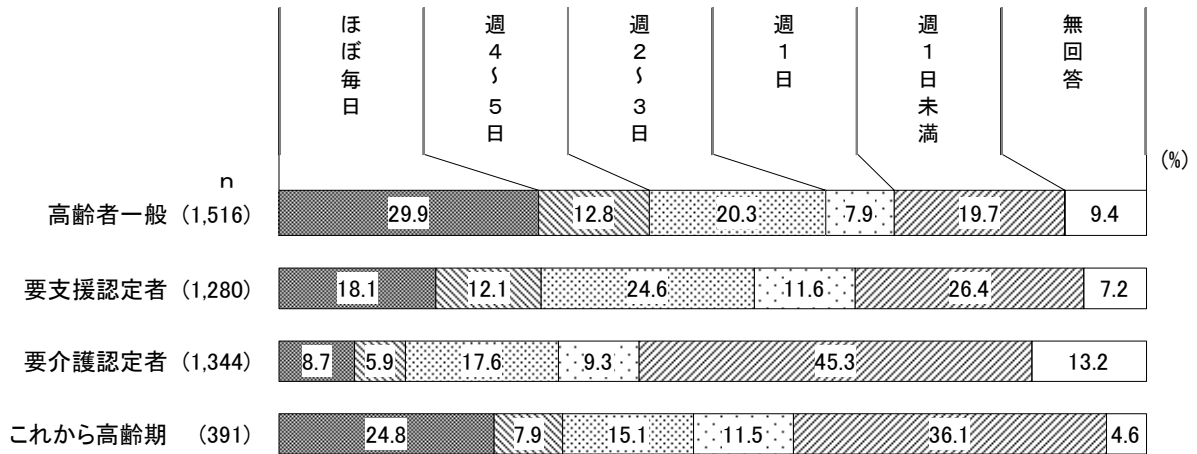
○「週1日未満」は、高齢者一般で5.1%、要支援認定者で18.8%、要介護認定者で46.0%、これから高齢期で4.3%となっている。



2.3

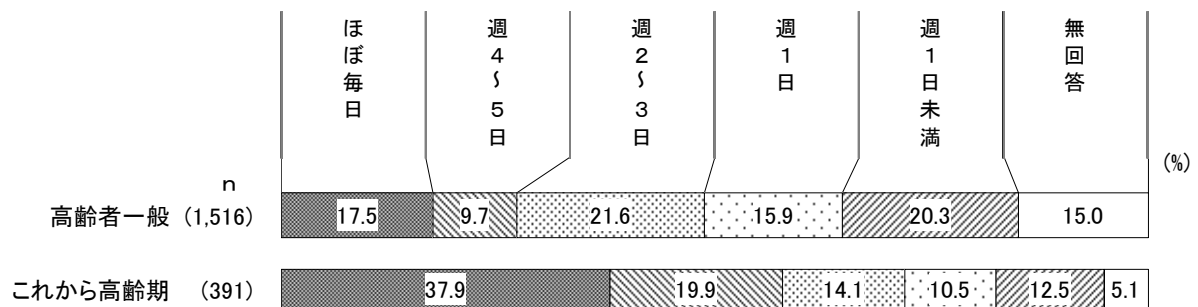
イ. 散歩で外出する頻度

- 週1日以上外出している人は、高齢者一般で約7割、要支援認定者で6割半ば、要介護認定者で4割超、これから高齢期で約6割となっている。
- 「週1日未満」は、高齢者一般で19.7%、要支援認定者で26.4%、要介護認定者で45.3%、これから高齢期で36.1%となっている。



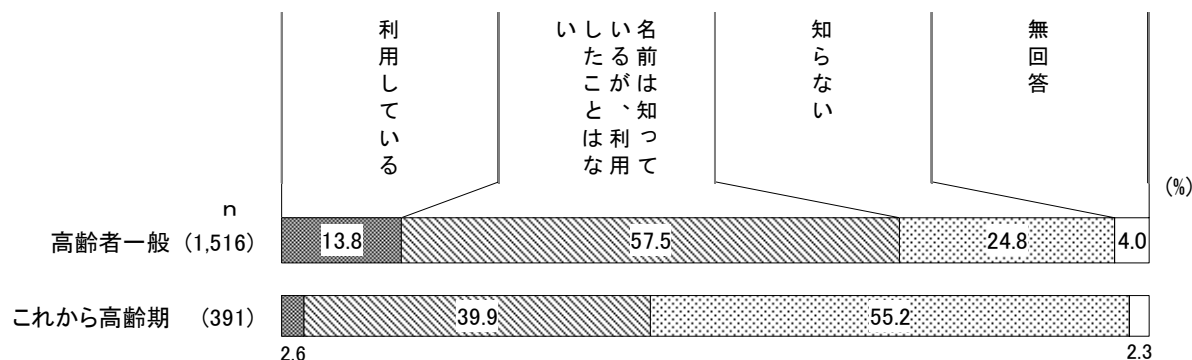
ウ. 買い物、散歩以外で外出する頻度

- 週1日以上外出している人は、高齢者一般で6割半ば、これから高齢期で8割超となっている。
- 「週1日未満」は、高齢者一般で20.3%、これから高齢期で12.5%となっている。



③はつらつセンター・敬老館・地域集会施設の利用状況

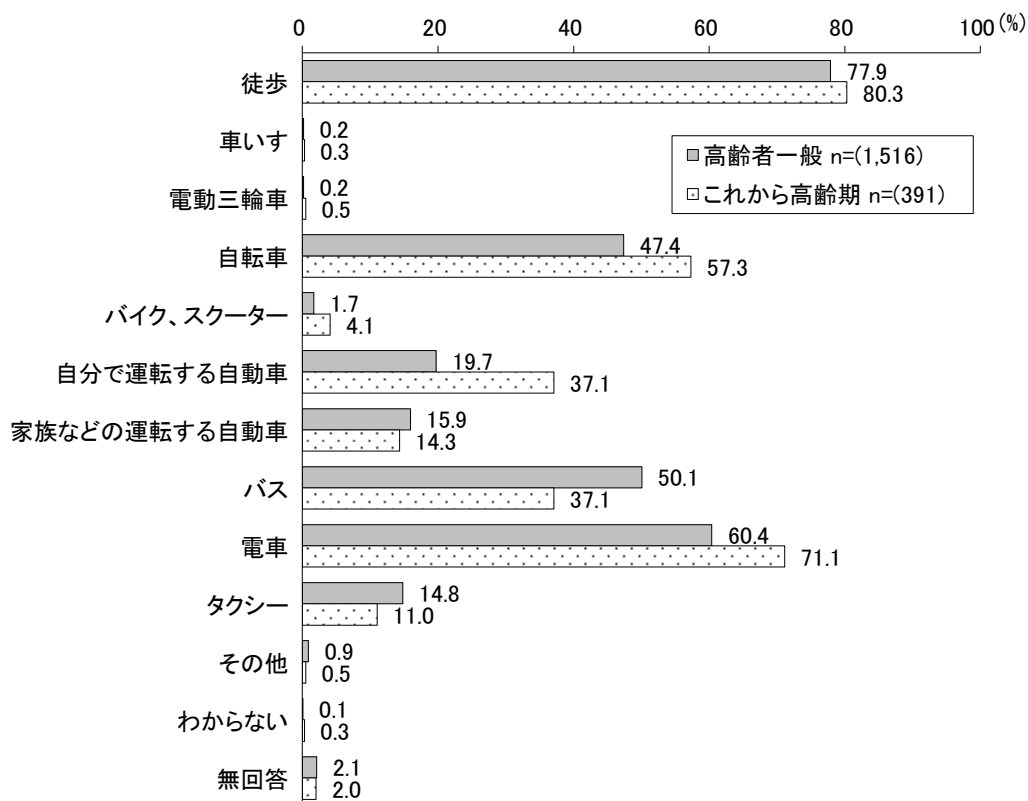
- 高齢者一般では、「利用している」が13.8%、「名前は知っているが、利用したことはない」が57.5%、「知らない」が24.8%となっている。
- これから高齢期では、「利用している」が2.6%、「名前は知っているが、利用したことはない」が39.9%、「知らない」が55.2%となっている。



④外出手段

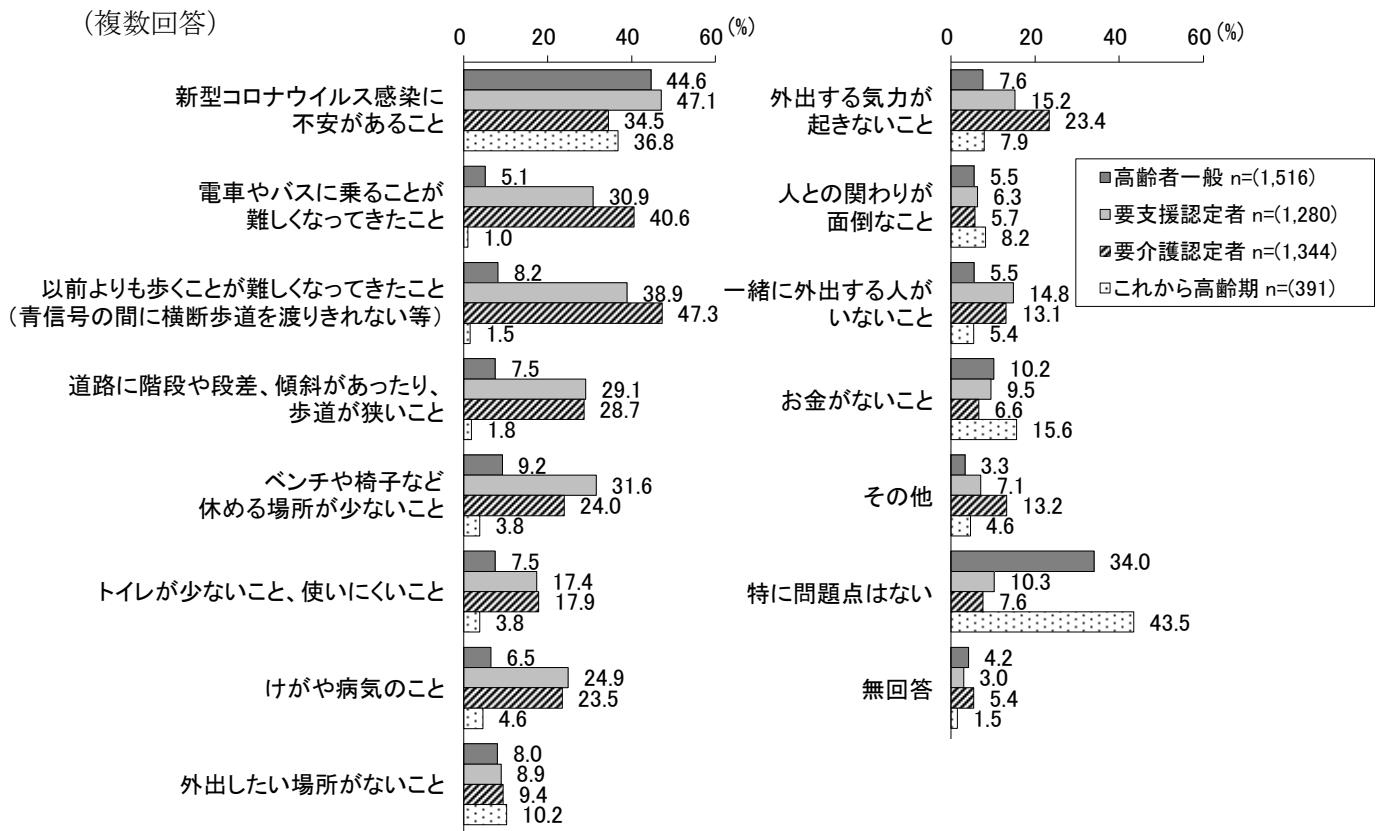
- 高齢者一般では、「徒歩」(77.9%)が最も高く、次いで「電車」(60.4%)、「バス」(50.1%)、「自転車」(47.4%)の順となっている。
- これから高齢期では、「徒歩」(80.3%)が最も高く、次いで「電車」(71.1%)、「自転車」(57.3%)の順となっている。

(複数回答)



⑤外出をためらってしまうような問題点

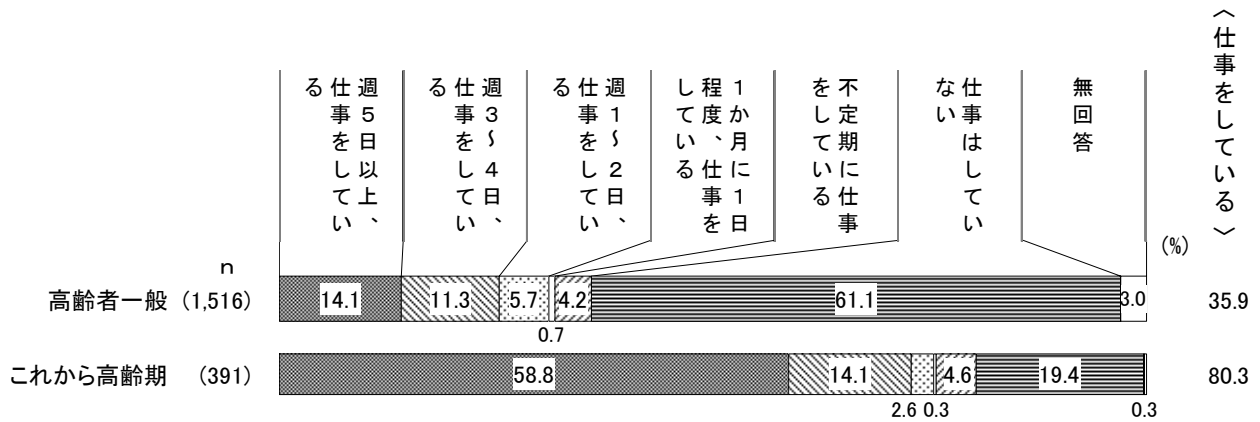
- 高齢者一般では、「特に問題点はない」が34.0%となっている。外出をためらう問題点としては、「新型コロナウイルス感染に不安があること」(44.6%)、「お金がないこと」(10.2%)が上位に挙げられている。
- 要支援認定者では、「新型コロナウイルス感染に不安があること」(47.1%)が最も高く、次いで「以前よりも歩くことが難しくなってきたこと(青信号の間に横断歩道を渡りきれない等)」(38.9%)、「ベンチや椅子など休める場所が少ないこと」(31.6%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「以前よりも歩くことが難しくなってきたこと(青信号の間に横断歩道を渡りきれない等)」(47.3%)が最も高く、次いで「電車やバスに乗ることが難しくなってきたこと」(40.6%)、「新型コロナウイルス感染に不安があること」(34.5%)の順となっている。
- これから高齢期では、「特に問題点はない」が43.5%となっている。外出をためらう問題点としては、「新型コロナウイルス感染に不安があること」(36.8%)、「お金がないこと」(15.6%)が上位に挙げられている。



(2) 就労状況

①就労状況

○“仕事をしている”（「仕事はしていない」と無回答を除く）は、高齢者一般で35.9%、これから高齢期で80.3%となっている。



[年代別 / 高齢者一般]

○年代別にみると、『前期高齢者』は、“仕事をしている”が5割半ばで、『後期高齢者』と比べて高くなっている。

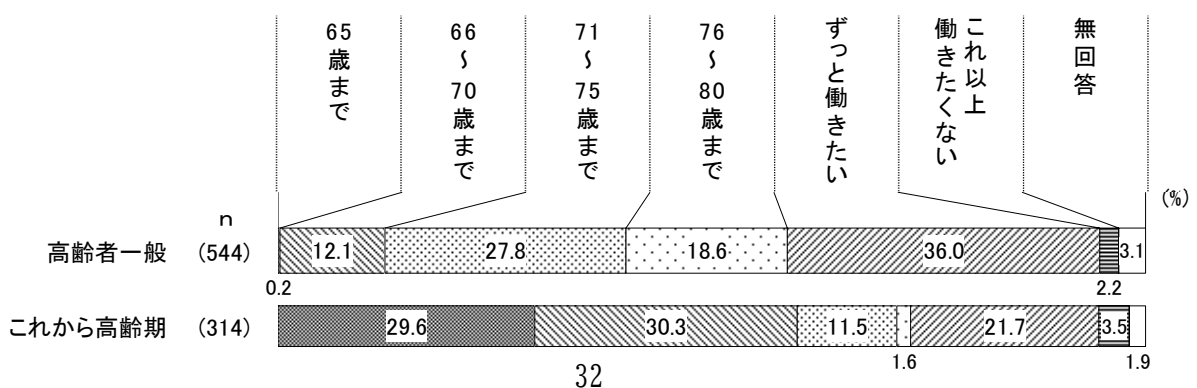
○「週5日以上、仕事をしている」は、『前期高齢者』で2割超となっている。

	n	週5日以上	週3日	週1日	1か月	不定期	仕事はしていない	無回答	仕事をしている (%)
高齢者一般	1,516	14.1	11.3	5.7	0.7	4.2	61.1	3.0	35.9
前期高齢者(65-74歳)	643	21.8	18.7	6.5	0.9	6.2	44.0	1.9	54.1
後期高齢者(75歳以上)	850	8.0	5.8	4.9	0.6	2.7	74.2	3.8	22.0

②働き続けたい年齢

○“仕事をしている”と回答した人の働き続けたい年齢は、高齢者一般では、「ずっと働きたい」(36.0%)が最も高く、次いで「71~75歳まで」(27.8%)、「76~80歳まで」(18.6%)の順となっている。70歳を超えても働き続けたいと回答した方は8割超を占めている。

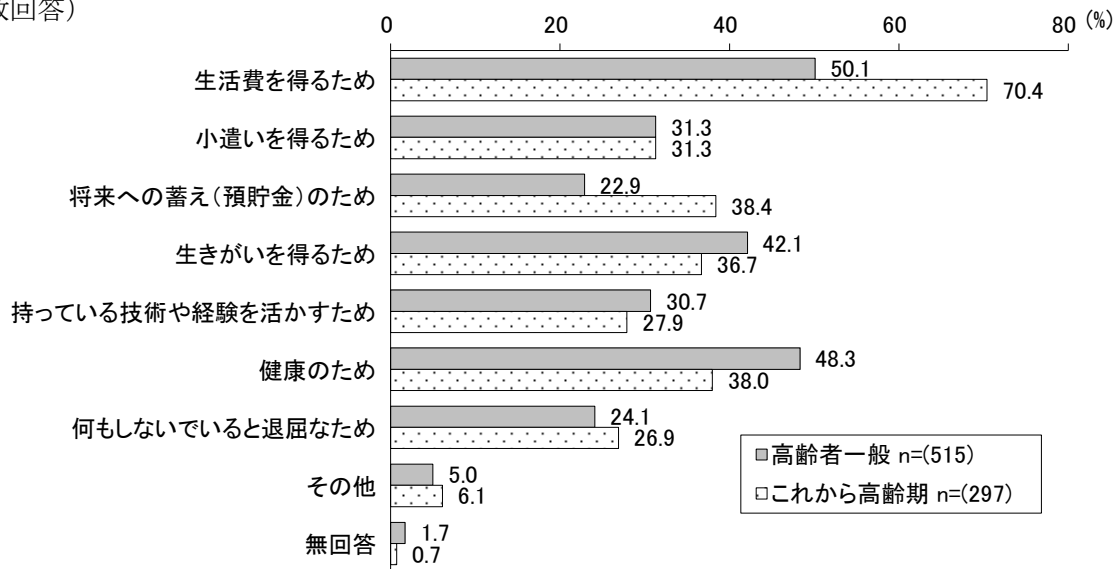
○これから高齢期では、「66~70歳まで」(30.3%)が最も高く、次いで「65歳まで」(29.6%)、「ずっと働きたい」(21.7%)の順となっている。



③働く理由

- “仕事をしている”と回答した人の働く理由は、高齢者一般では「生活費を得るため」(50.1%)が最も高く、次いで「健康のため」(48.3%)、「生きがいを得るため」(42.1%)の順となっている。
- これから高齢期では、「生活費を得るため」(70.4%)が最も高く、次いで「将来への蓄え(預貯金)のため」(38.4%)、「健康のため」(38.0%)の順となっている。

(複数回答)



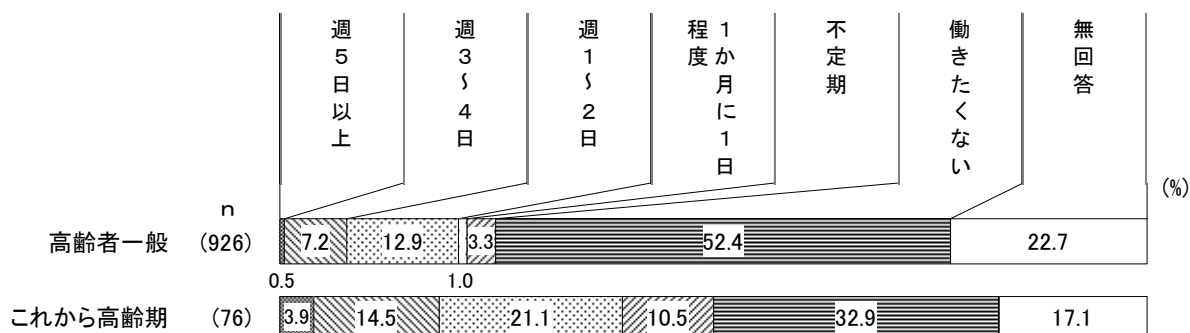
[経年比較 / 高齢者一般]

- 過去の調査結果と比較すると、令和4年度の調査結果は、「生活費を得るため」、「持っている技術や経験を活かすため」、「将来への蓄え(預貯金)のため」のポイントが高くなっている。

	n	生活費を得るため	健康のため	生きがいを得るため	小遣いを得るため	持っている技術や経験を活かすため	何もしないでいると退屈なため	将来への蓄え(預貯金)のため	その他	無回答
令和4年度	515	50.1	48.3	42.1	31.3	30.7	24.1	22.9	5.0	1.7
令和元年度	502	46.6	55.4	42.0	32.5	26.9	29.1	18.3	6.6	2.2
平成28年度	491	48.9	53.0	43.2	26.7	24.4	34.2	15.7	6.5	2.6

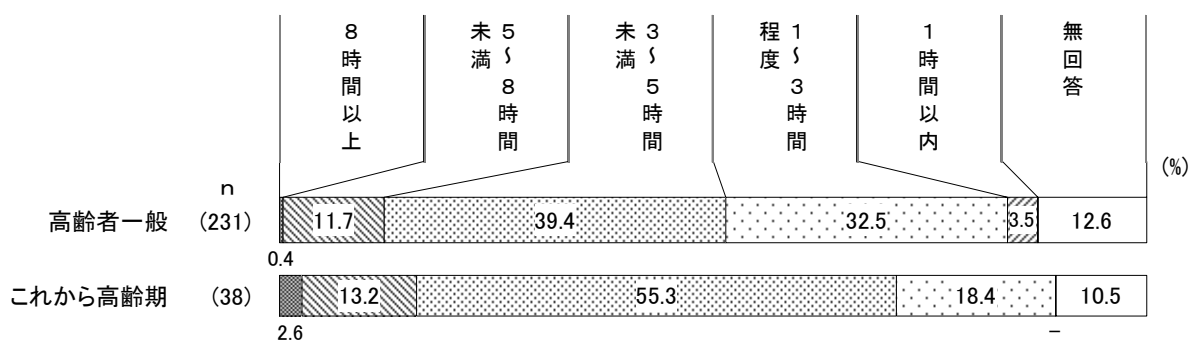
④希望する就労の頻度

- 「仕事はしていない」と回答した人の希望する就労の頻度は、高齢者一般では、「週1～2日」が12.9%、「週3～4日」が7.2%となっている。また、「働きたくない」が52.4%となっている。
- これから高齢期では、「週1～2日」が21.1%、「週3～4日」が14.5%となっている。また、「働きたくない」が32.9%となっている。



⑤希望する就労時間

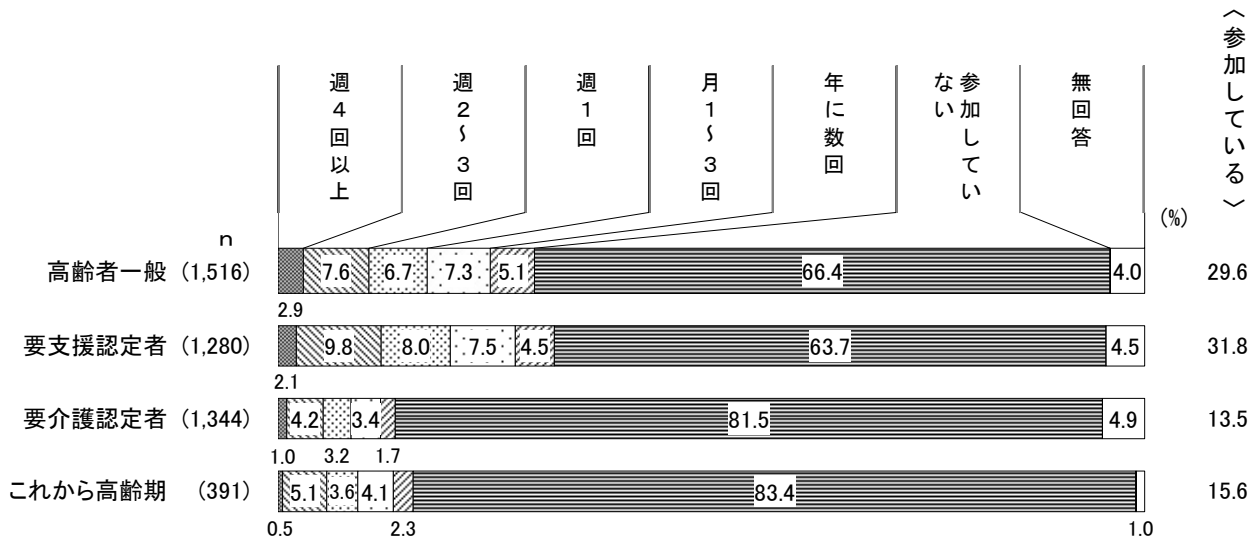
- 仕事は現在していないが就労意向はあると回答した人が希望する就労時間は、いずれの調査でも「3～5時間未満」が最も高く、高齢者一般で39.4%、これから高齢期で55.3%となっている。
- 高齢者一般では、「1～3時間程度」が3割超と、これから高齢期と比べて高くなっている。



(3) 地域活動への参加状況

①地域活動の参加頻度

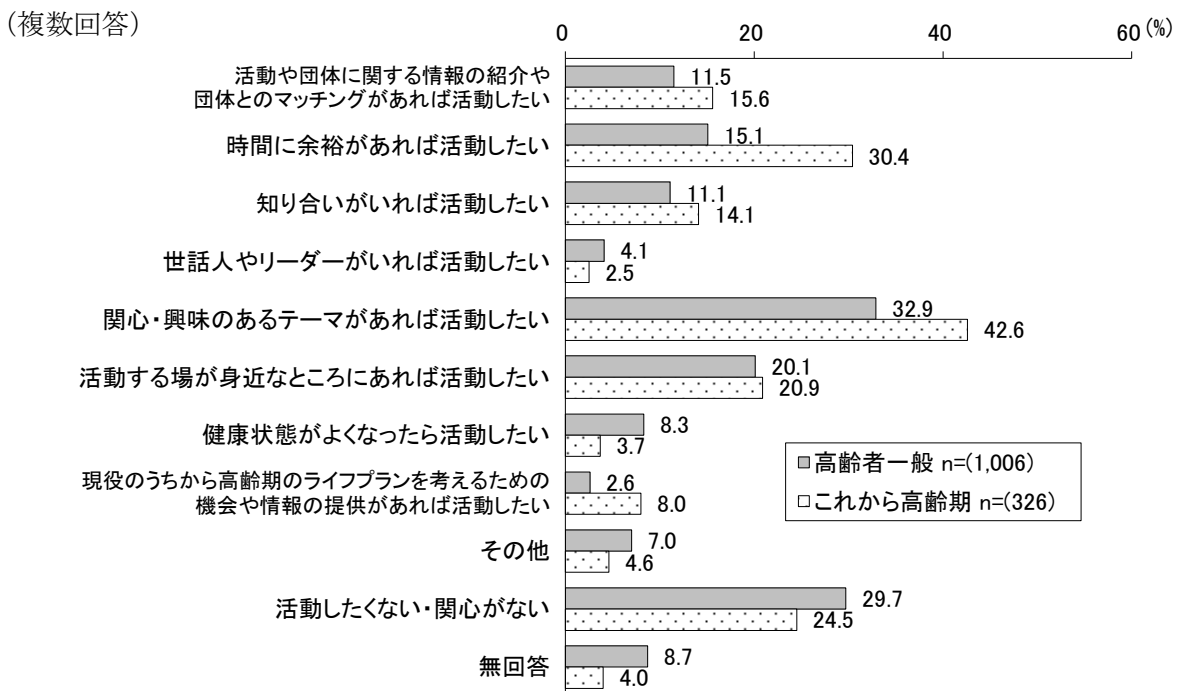
○地域活動（ボランティアや趣味・スポーツ関係のグループ、町内会・自治会、老人クラブなどの活動）に“参加している”（「参加していない」と無回答を除く）と回答した人は、高齢者一般で29.6%、要支援認定者で31.8%、要介護認定者で13.5%、これから高齢期で15.6%となっている。



②地域活動に参加するきっかけ

○地域活動に「参加していない」と回答した人の地域活動に参加するきっかけは、いずれの調査でも「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」が最も高く、高齢者一般で32.9%、これから高齢期で42.6%となっている。

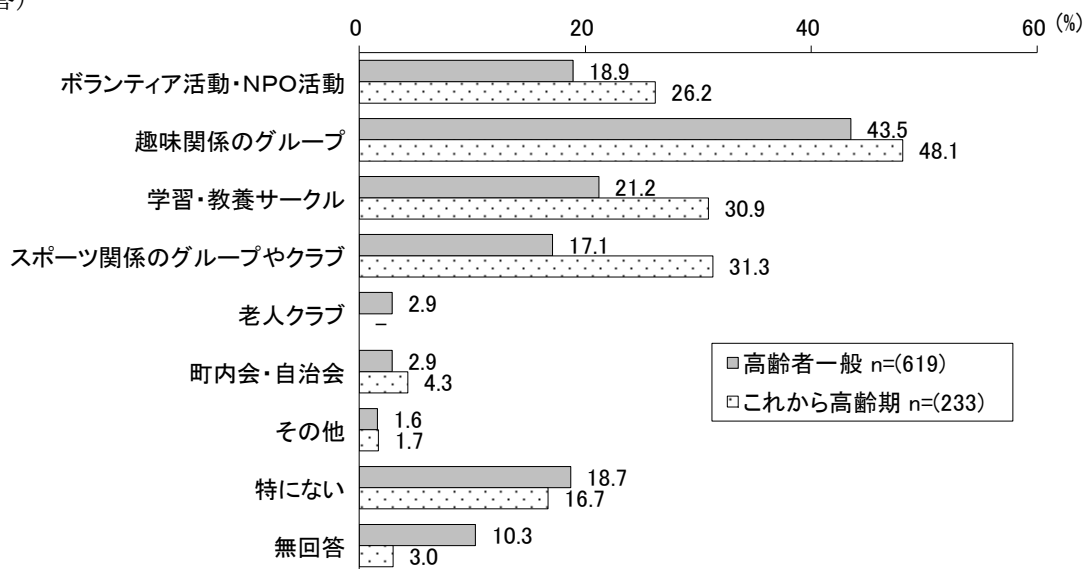
○これから高齢期では、「時間に余裕があれば活動したい」が約3割と、高齢者一般と比べて高くなっている。



③活動してみたい地域活動の分野

○地域活動に参加するきっかけがあれば活動したいと回答した人の活動してみたい活動分野は、いずれの調査でも「趣味関係のグループ」が最も高く、高齢者一般で43.5%、これから高齢期で48.1%となっている。

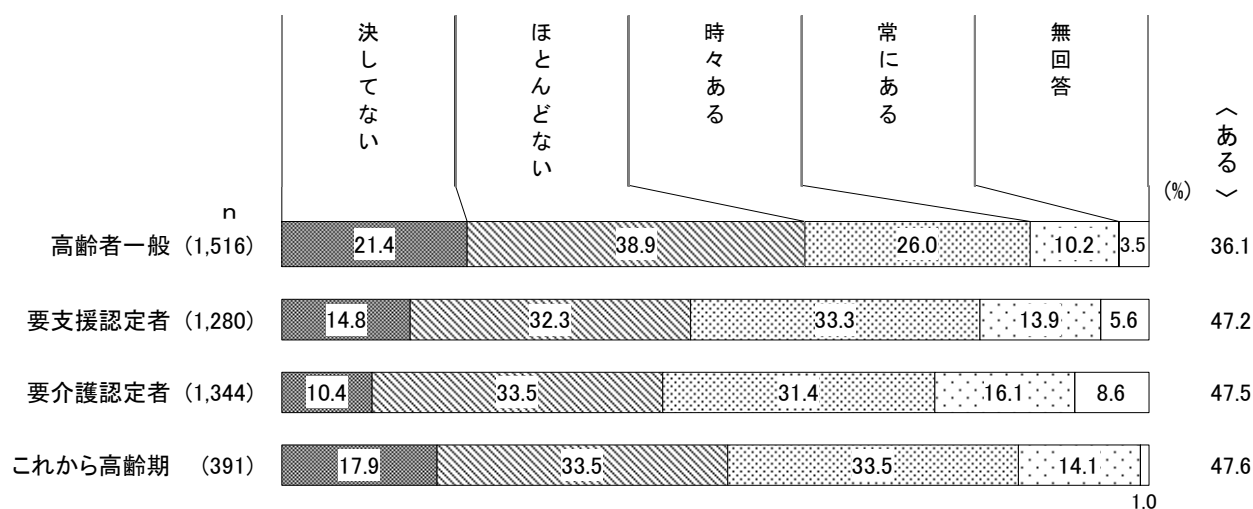
(複数回答)



(4) 孤立感

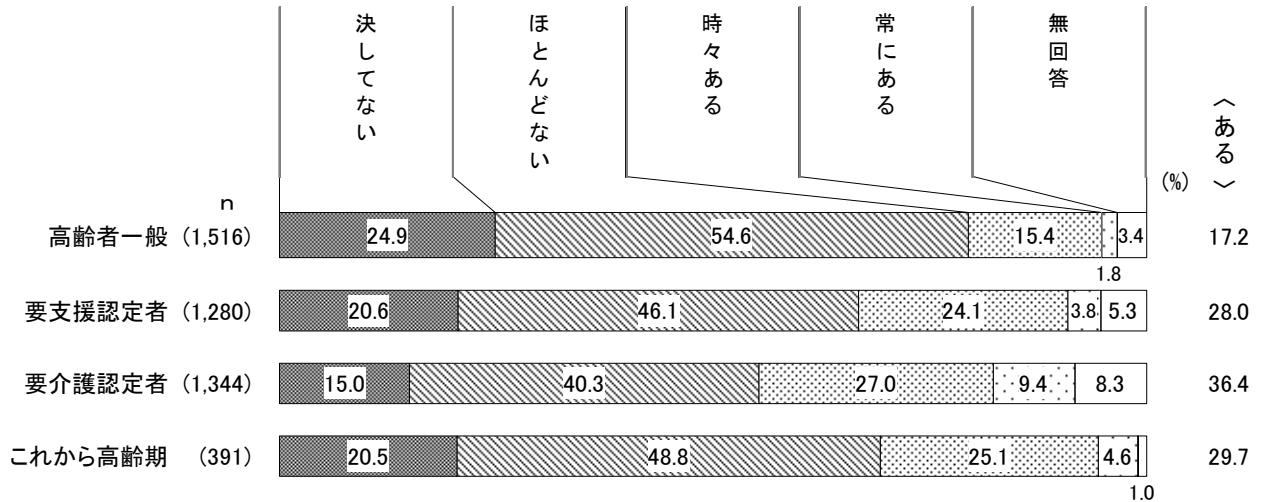
①人との付き合いがないと感じる頻度

○人との付き合いがないと感じることが“ある”（「常にある」と「時々ある」の合計）は、高齢者一般で36.1%、要支援認定者で47.2%、要介護認定者で47.5%、これから高齢期で47.6%となっている。



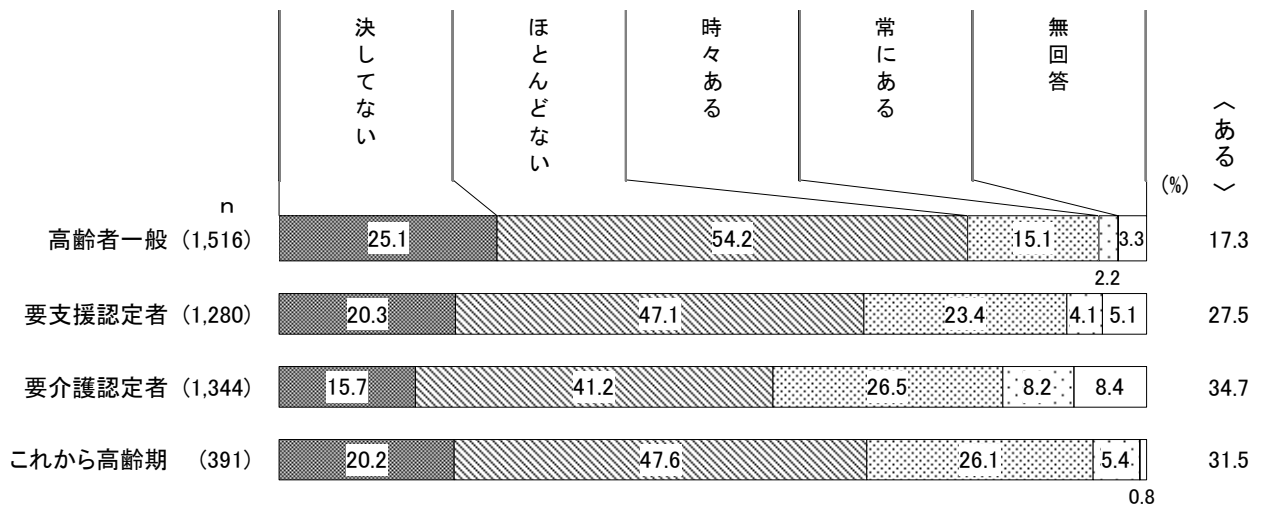
②取り残されていると感じる頻度

○取り残されていると感じることが“ある”（「常にある」と「時々ある」の合計）は、高齢者一般で17.2%、要支援認定者で28.0%、要介護認定者で36.4%、これから高齢期で29.7%となっている。



③他の人たちから孤立していると感じる頻度

○他の人たちから孤立していると感じることが“ある”（「常にある」と「時々ある」の合計）は、高齢者一般で17.3%、要支援認定者で27.5%、要介護認定者で34.7%、これから高齢期で31.5%となっている。



[世帯構成別 / 高齢者一般]

○世帯構成別にみると、『1人暮らし』は、“ある”が2割超で他の世帯構成と比べて高くなっている。

	n	決 して ない	ほ と ん ど ない	時 々 あ る	常 に あ る	無 回 答	あ る
高齢者一般	1,516	25.1	54.2	15.1	2.2	3.3	17.3
1人暮らし	489	23.9	48.5	18.6	4.3	4.7	22.9
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	404	23.5	60.1	14.1	1.0	1.2	15.1
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	95	32.6	54.7	10.5	1.1	1.1	11.6
子との2世帯	269	26.8	55.4	12.6	1.1	4.1	13.8
その他	218	25.7	55.5	14.7	1.8	2.3	16.5

[外出に対する積極性別 / 高齢者一般]

○外出に対する積極性別にみると、『閉じこもりがち』は、“ある”が34.6%で、『外出している』(14.6%)と比べて高くなっている。

○外出に対する積極性が低いほど、孤立を感じる頻度が高い傾向にある。

	n	決 して ない	ほ と ん ど ない	時 々 あ る	常 に あ る	無 回 答	あ る
高齢者一般	1,516	25.1	54.2	15.1	2.2	3.3	17.3
外出している	1,174	27.0	55.5	12.9	1.7	2.9	14.6
どちらともいえない	153	15.0	58.8	23.5	0.7	2.0	24.2
閉じこもりがち	133	21.1	40.6	25.6	9.0	3.8	34.6

[日常生活で困った場合の相談先の有無別 / 高齢者一般]

○日常生活で困った場合の相談先の有無別にみると、『相談先はない』は、“ある”が31.5%で、『相談先がある』(16.2%)と比べて高くなっている。

	n	決 して ない	ほ と ん ど ない	時 々 あ る	常 に あ る	無 回 答	あ る
高齢者一般	1,516	25.1	54.2	15.1	2.2	3.3	17.3
相談先がある	1,357	25.8	55.6	14.7	1.5	2.4	16.2
相談先はない	89	18.0	47.2	22.5	9.0	3.4	31.5